

長期ビジョン

事業環境が大きく変化する中、当社においては、大気社グループの将来像や価値創造のあり方について、10～20年後の産業構造、社会環境の変化を見据え、バックカスティングの考え方で、幅広い視点から議論を重ねてきました。2022年の中期経営計画策定とともに新たに設定した長期ビジョンも、こうした議論を踏まえたものです。

Innovative Engineering

長期ビジョン 1

エネルギー・空気・水の創造的なエンジニアリングにより、持続可能な社会へ貢献する

①「社会的課題の解決」へ積極的にチャレンジすることにより、②「専門性の高い顧客ニーズへの処方箋」を的確かつ迅速に提供できる「総合エンジニアリング力の強化」を不断に進め、③長期的なキャッシュフロー増大に結びつける

社会や市場の要請

経済的利益

- 持続的な企業成長
- 安定的な株主還元
- 人的・知的資本の厚み

最適なバランス

社会的利益

- 長期的に持続可能な社会システムへの企業貢献
(=地球環境にやさしい企業)

大気社の長期戦略 = 差別化戦略 (Differentiation Strategy)

エネルギー 空気 水

1

技術革新
(ハード面)

2

経験知の深掘りと
蓄積(ソフト面)

3

新たな領域への
知的探索

R&D機能強化

新規事業&
新規顧客の開拓

継続的に処方箋を提供

既存顧客からの
一層の信頼

持続可能な社会と企業成長の実現

社会や環境の変化を中長期的な成長機会として戦略的に取り入れ、あるべき社会像や会社の姿の実現に向けて、大気社グループ全体がダイナミックに変革・成長していくことを意図しています。

Diversity & Inclusion

長期ビジョン 2

多様な人材・知見を活かし、インクルーシブなグローバル企業となる

真のグローバル企業として、多様な価値観、社内外の技術・人脈を融合させ、変化する社会に対し新たな価値を継続的に生み出す

大気社の企業風土

海外

早期の海外進出を背景に、
多様性をいち早く受け入
れてきた柔軟性

—ナショナルスタッフの活躍—

国内

進取の精神をもつ企業文
化と高い技術力を持つス
ペシャリストが豊富な環境

—他社との差別化、特化した技術—

連携

パートナーシップの強化

- 既存顧客
- サプライヤー

社外の人脈・技術

- オープンイノベーション
- 産学連携



多様な価値観・技術
Diversity



結合力 融合する力
Inclusion



継続的に生み出される新しい価値
Value

企業競争力・差別化の原動力

カーボンニュートラルへの挑戦にあたって

世界が目指す2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、2050年までに自社のCO₂排出量のネットゼロ化を図るとともに、ステークホルダーのCO₂削減に貢献します。

長期ビジョンの実現に向けた中期経営計画の戦略

既存の事業ポートフォリオを

「資本効率」「長期戦略との整合性」「関係会社ガバナンス」の視点で見直し、長期的に付加価値を創造できる筋肉質な事業構造へ転換

事業戦略

- 業容拡大重視から、エンジニアリングの質の向上と収益力・生産性向上へ軸足を移す
- 未開拓な事業領域へ積極的にチャレンジする
- グローバルな地域戦略のバランスを見直す

経営基盤

- 人的資本・知的財産・研究開発・DXへの投資を「資本=競争力の源泉」として一層強化する
- 自由で風通しの良い企業風土の一層の醸成により、大気社グループの人材の多様性を活かす

財務戦略

- 配当の安定性確保・自己株式取得へのコミットメントにより、総還元性向のさらなる充実を図る
- 政策保有株式削減の目標値・達成時期を開示する

中期経営計画の3つの基本方針

- 1 コア事業のさらなる強化
- 2 新たな価値創出への挑戦
- 3 変革・成長を支える経営基盤の強化

資金活用計画

中期経営計画の詳細は、P.33～34をご覧ください。